

平成 26 年度 事業 報告

事業の概要

当財団は、昭和 5 年（1930 年）に故服部金太郎翁により設立されて以来、国家・社会に対する有用な発明発見または研究を成就した者に対する「報公賞」の贈呈および一般学術の特殊な研究または調査の奨励援助、ならびに教育その他の公益事業に対する援助を行ってまいりましたが、昭和 41 年以後は、

1. 工学に関する優秀な研究成果を挙げた者に対する報公賞（感謝状および賞金）の贈呈
 2. 工学に関する研究奨励援助
- を主要な事業としております。

本年度における事業の概要は次のとおりであります。

1. 報公賞の贈呈

当財団ホームページ等による公募の結果、受賞候補として 7 件の推薦があり、審査委員会において厳正審査の結果、下記 1 件に感謝状、賞金の贈呈を行いました。

研究題目 「非線形誘電率顕微鏡の発明・実用化と電子デバイス開発への応用」

研究者 東北大学 電気通信研究所 教授 長 康雄

賞 金 5,000,000 円

2. 工学研究奨励援助

当財団ホームページ等による公募を行うとともに、特に全国の国公立、私立の大学学長、大学院工学研究科長、および研究機関長に推薦を依頼し、その結果 119 件の応募があり、厳正審査の結果 10 件の援助を行いました。

（別掲 平成 26 年度工学研究奨励援助金受領者一覧のとおり）

平成26年度工学研究奨励援助金受領者一覧

機関名／受領者	研究題目	助成金額
北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 助教 うえぞのともあき 請園 智玲	ハードウェアによる組込み仮想化のVM間リアルタイム・タスクスケジューラの開発	1,000,000円
東京大学大学院 工学系研究科 准教授 おおくぼまさし 大久保 將史	ナトリウム過剰層状酸化物を用いた高容量電極材料の創出	1,000,000円
中央大学 理工学部 精密機械工学科 助教 おかのたいじ 岡野 太治	1細胞遺伝子発現解析の活用促進に向けた普及型マイクロデバイスの開発	1,000,000円
電気通信大学大学院 情報理工学研究科 准教授 かじもとひろゆき 梶本 裕之	把持棒による打撃時の距離推定メカニズムの解明とその応用	1,000,000円
立命館大学 生命科学部 応用化学科 助教 かねここうすけ 金子 光佑	液晶材料を用いた二周波駆動型電気粘性流体の開発	1,000,000円
神戸大学大学院 工学研究科 助教 きくちしょういち 菊池 将一	組織制御による高強度・高延性チタン合金の作製とその疲労破壊メカニズムの解明	1,000,000円
東北大学 金属材料研究所 助教 くぼたたかひで 窪田 崇秀	金属ベース磁気抵抗素子の高出力化のための非磁性規則合金薄膜の探索	1,000,000円
名古屋大学 トランスフォーマティブ 生命分子研究所 特任助教 なんぼまさかず 南保 正和	炭素-水素結合の化学変換のみを基軸とする逐次的アリアル化反応の開発と生物活性化化合物創製への展開	1,000,000円
京都大学大学院 工学研究科 准教授 にしなおや 西 直哉	イオン液体ソフト界面を電気化学反応場とする金属ナノ構造の創製およびその触媒活性評価	1,000,000円
横浜国立大学大学院 工学研究院 研究教員 のざきたかひろ 野崎 貴裕	接触物の位置変動下における接触時間制御のための時間伸縮を用いた動作再現システムの実現	1,000,000円
合計 10件 10,000,000円		